

## プレゼントはなあに？ v. 1

- |       |      |          |
|-------|------|----------|
| ■人形■  | ■背景■ | ■小道具■    |
| ・男の子  | ・草むら |          |
| ・メンドリ | ・家   | ・プリン     |
| ・ガチョウ | ・森   | ・枕       |
| ・ヤギ   | ・山   | ・チーズ     |
| ・ヒツジ  |      | ・毛布      |
| ・メウシ  |      | ・アイスクリーム |
| ・クマ   |      | 以上は絵絵    |
| ・お母さん |      |          |
|       |      | ・おしまいボード |

| 1

### ■ 1景 家の前 ■

□ 下手に家 中央に草むら



語り 「あるところに男の子がいました… [と男の子を中央に置く] 今日はお母さんの誕生日です…そこで男の子は考えました」

男の子 「プレゼントに何をあげたらママ喜ぶかなあ…迷うなあ…」

語り 「男の子が考えていると…コーッコッコ [上手にメンドリを出す] メンドリに会いました」

男の子 「こんにちは…メンドリさん…ママの誕生日になにかあげるものないかなあ…」

メンドリ 「[大きく動かして] コーッコッコ…それじゃあわたしが生みたての卵を一つあげましょう…」

男の子 「ありがとう…でも卵がプレゼント…？」

メンドリ 「いいえ… [プリンの絵を出す] 卵でおいしいプリンを作ったらお母さん喜ぶですよ」

男の子 「プリンかあ…でも…プリンならもう冷蔵庫にあるんだ



〔絵をはずす〕

メンドリ「それじゃ一緒に何か探しにいきましょう…コーッコッコ  
ッ〔と下手に向かい中央で止まる〕」

語り 「そこで男の子はメンドリの後をコーッコッコッについて  
いきました〔メンドリの後ろで止まる〕すると…ガアガア  
ガア…ガチョウに会いました…〔ガチョウを出す〕」

男の子 「〔メンドリの前に出て〕 こんにちは…がちょうさん…マ  
マの誕生日になにかいいプレゼントないかなあ…」

ガチョウ「〔大きく動かして〕 ガアガアガア…それじゃあぼくの羽  
根をあげましょう…」

男の子 「ありがとう…でもガチョウさんの羽根がプレゼント…？」

ガチョウ「いいや…〔枕の絵を出す〕 羽根でフワフワの枕を作った  
らお母さん喜ぶと思うよ」

男の子 「枕かあ…でも…枕ならベッドにもうあるんだ〔絵をはず  
す〕」

ガチョウ「それじゃ一緒に何か探しに行こう…ガアガアガア〔と上  
手に向かい中央で止まる〕」

語り 「そこで男の子たちもガアガアガア…とついていきました  
…〔順番に向きを変えてガチョウの後ろで止まる〕すると  
…メェーメェー…ヤギに会いました…〔ヤギを出す〕」

男の子 「〔先頭にて〕 こんにちは…ヤギさん…ママの誕生日に  
なにかいいプレゼントないかなあ…」

ヤギ 「〔大きく動かして〕 メェーメェー…それじゃあ私のミル  
クをあげましょう…」

男の子 「ありがとう…でもヤギさんのミルクがプレゼント？」

ヤギ 「いいえ…〔チーズ絵を出す〕 ミルクでおいしいチーズを  
作ったらお母さん喜ぶますよ」

男の子 「チーズかあ…でも…チーズならもう冷蔵庫にあるんだ



〔絵をはずす〕

ヤギ 「それじゃ一緒に何か探しにいきましょう…メェーメェー…  
…〔と下手に向かい中央で止まる〕」

語り 「そこで男の子たちもメェーメェー…ついていきました…  
〔順番に向きを変えてヤギの後ろで止まる〕すると…ベェー  
ベェー…ヒツジに会いました…〔ヒツジを出す〕」

男の子 「〔先頭に出て〕 こんにちは…ヒツジさん…ママの誕生日  
になにかいいプレゼントないかなあ…」

ヒツジ 「〔大きく動かして〕 ベェーベェー…それじゃあぼくの毛  
をあげましょう…」

男の子 「ありがとう…でもヒツジさんの毛がプレゼント？」

ヒツジ 「いいや…〔毛布絵を出す〕 ぼくの毛で温かい毛布を作っ  
たらお母さん喜ぶよ…」

男の子 「毛布かあ…でも…毛布ならベッドにもうあるんだ」

ヒツジ「それじゃ一緒に何か探しにいこうよ…ベェーベェー…〔と  
上手に向かい中央で止まる〕」

語り 「そこで男の子たちもベェーベェー…とついていきました  
〔順番に向きを変えてヒツジの後ろで止まる〕…すると…モ  
ウモウモウ…メウシに会いました〔メウシを出す〕…」

男の子 「こんにちは…メウシさん…ママの誕生日になにかいいプ  
レゼントないかなあ…」

メウシ 「〔大きく動かして〕 モウモウモウ…それじゃあ私の牛乳  
をあげましょう…」

男の子 「ありがとう…でもメウシさんの牛乳がプレゼント？」

メウシ 「いいえ…〔アイスクリーム絵を出す〕 牛乳でお母さんの  
大好きなアイスクリームを作ったら〔絵をアイスクリーム  
に〕 喜ぶますよ…」

男の子 「アイスクリームかあ…でも…アイスクリームなら冷蔵庫





にもうあるんだ」

メウシ 「それじゃ何がいいか…向こうの山の森に住んでいる何でも知っているクマさんに聞いてみたら？」

男の子 「うん…じゃあそうする…みんなで聞きに行こうよ… [と列をふり返る]」

メンドリ「私は行かない… [と家の前に移動]」

ガチョウ「ぼくも行かない… [と家の前に移動]」

ヤギ 「私も行かない… [と家の前に移動]」

ヒツジ 「ぼくも行かない… [と家の前に移動]」

男の子 「[メウシを見て] メウシさんは行ってくれるよね」

メウシ 「いいえ…一人でお行きなさい… [と家の前に移動]」

男の子 「なあんだ…いいよ一人で行ってくるよーっ [と上手に入る…動物たちごと家を裏返して森の景にする]」

## ■ 2景 森の中 ■



語り 「そこで男の子は一人でクマを探しに出かけました… [上手から出て来る] トットコトットコ…山まで駆けて行って… [草むらを山に変える] それから…どンドン歩いていくと森に来ました…すると…大きなクマがやってきました… [森の前にクマを出す]」

男の子 「こんにちは…クマさん…ママの誕生日になにかいいプレゼントないかなあ…」

クマ 「ウォウウォウウォウ…あいにく私には何もあげるものがないねえ…だけどいいことをおしえてあげよう…」

男の子 「いいことってなあに…？」

クマ 「こっちにきてごらん…」

男の子 「[近づいて] なあに？…」

クマ 「こうしてね… [男の子をハグ]」

男の子 「…うん…それがいいや…クマさんありがとう [と上手





に去る]」

クマ 「はいさようなら… [と森に入る]」

語り 「男の子はクマさんからいいプレゼントを教えてもらったので森を抜け、[山を草むらに戻す] 山から大急ぎで…道  
を通して…家へ帰りました… [下手の森を回転し家の景に  
戻し動物たちと一緒に母さんを出す] 家に着くと [男の  
子を上手寄りに出して] 男の子は母さんにいいました」

15

### ■ 3景 家の前 ■

男の子 「ママ…お誕生日おめでとう」

お母さん 「ありがとう…」

男の子 「プレゼントはなーんだ？」

お母さん 「そうね… [と動物たちをふり返り] 卵で作ったおいしい  
プリンかしら？」

男の子 「ちがうよ [メンドリを倒す]」

お母さん 「じゃあ…羽根でつくったフワフワの枕？」

男の子 「ちがうよ [ガチョウを倒す]」

お母さん 「じゃあ…ミルクでつくったおいしいチーズ？」

男の子 「ちがうよ [ヤギを倒す]」

お母さん 「じゃあ…温かい毛布？」

男の子 「ちがうよ [ヒツジを倒す]」

お母さん 「じゃあ…ママの大好きなアイスクリーム？」

男の子 「ちがうよ [メウシを倒す]」

お母さん 「降参…ママにはわからないわ…」

男の子 「プレゼントはね…これだよ… [とお母さんとベアハグ]  
ママ大好きだよ」

お母さん 「ありがとう…」

語り 「お母さんはとても喜んでくれました…心配してくれた動  
物たちもこれをみて大喜びです… [動物たちを動かす] こ



うやって抱きつくのが一番いいプレゼントだよ…とクマ  
さんが教えてくれたのです…よかったね…これでおはな  
しは…おしまい [おしまいボードを出す]



《注記》アメリカの絵本作家マジョリー・フラック（1887-1958）の  
「ASK MR BEAR」©1932 を読み聞かせする複数の YOUTUBE 映像  
に触発されてテーブルシアターに再構成した